

まきば通信

第17号

日本基督教団
愛知老人コミュニティーセンター
〒470-0111 日進市米野木町南山987-88
TEL. 0561-74-5548
FAX. 0561-74-5561

ホームページ <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>
E-mail makiba@mb.ccnw.ne.jp
発行日 2010年9月5日
発行人 鈴木 卓也

「まきば」は良いところか

理事長 篠田 潔



「まきば」の現状に触れている者として、わたしは「ここは良いところだなあ」と思います。その一つは、周りが静かで空気が良くて、ぶらぶら散歩するにも適していると思うからです（もっとも、この地方の同種施設を総合的に比較して「『まきば』は一位である」と評したダイヤモンド誌は、立地条件についてだけは良い評価をしていますが、それは交通の便が悪いということや文化施設にも遠い、ということなどへの評価結果であっても、「空気の良さ」の評価はなされていないようで残念です）。

次は、すぐ目の前に「愛知国際病院」があり、さらには「ホスピス」があることです。「まきば」の設立が中部教区常置委員会において議せられた時に、憂慮されたことの一つは「自立を入居条件としていても、やがて年老い、介護が必要となったとき対処できるか」ということでした。が、今や愛知国際病院には提携病院になっていただいております、病気になったらすぐ駆けつけられます。

さらに「病院でも面倒見切れなくなった、長期に互る寝たきり状態になってしまった人にどう対応できるか」との憂慮もありましたが、天与の恵みとしが言いようのない仕方で、「介護専用の建物」としての「新館」を建てることができました。

「まきば」が自然環境や健康管理のほかに「つい住家」として安心できる施設であるためには、以上述べたことの他に、長期に互っての経営の安定が図られなくてはなりません。入居者の中に、介護を要する人が増えてきて、その介護費のために年間収支が赤字になった時期があります。その後介護保険制度の発足によって、これは解消されました。介護保険制度の今後の改変が予想されなくはありませんが、このことで土台が揺さぶられることはないだろうと思っています。

それよりも、ずっと気がかりだったのは、例えば土台もろとも崩れ去る時が来たなら、直ちに入居者全員に預かり金全額が返済できるか、ということでした。これは「まきば」の建築には入居金が充てられていて、それが負債勘定となっていたからです。それが今やすべて返済されて無借金となりました。そして、将来の改修や全改築に備えての資産の蓄積、また15年分の家賃相当分に当たる入居金が償却された後の充当対策なども、ある程度見通しをつけられている現在です。

中部教区総会に「まきば」建築を提案され、初代理事長としてその実行に当たられたのは戸田伊助牧師でした。その時の総会議長はわたくしでした。その後わたしが理事長に任じられ、戸田牧師は今春入居者となりました。

いささか自画自賛のきらいがありますが、今年から職員の半数がキリスト者となったことと併せ考え、表記の題を付けた次第です。



▲手前が介護専用室、後方が本館

1

「まきば」の周辺風景 ⑥

医療法人 財団愛泉会 愛知国際病院

院長 井手 宏

愛知国際病院は、1981年にこの南山の地、愛知牧場の一角に開設されました。当時、一面緑の丘陵に道（現在のまきばと病院の間の道路）を作ることから始められました。当時は周囲に住宅も少なく（今も少ないですが）、牧場の牛のための病院？ AHIがあるので外国人専用の病院？などと思われていたようです。あれから30年の月日が経とうとしています。今では病院の関連施設として、老人保健施設愛泉館やホスピス病棟ができました。更に、シルバーホーム「まきば」をはじめとした多くの施設が病院の周りに作られ、一つの医療・福祉ゾーンになりました。

愛知国際病院の理念は「神いやし 我ら仕える」です。基本方針は、

1. キリスト教精神にもとづく全人的医療
2. アジアの健康の増進への理解と協力
3. 地域と共にあり、地域に支えられる医療

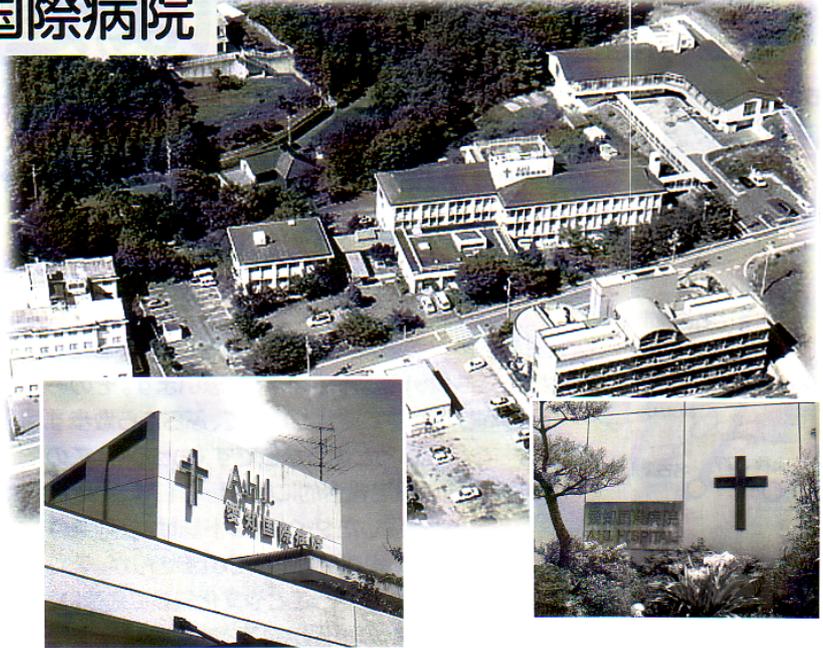
です。

「神いやし 我ら仕える」とは、人間は元々治癒する力を持っており、我々が患者さんお一人お一人に仕えることによって、その働きを通して神様が癒してください。我々医療者が病気を治しているなどとおごらず、常に仕えるという謙虚な姿勢で患者さん中心の医療・ケアを行っていくということを意味しています。

開設の翌年より、病気や障害があっても慣れ親し



▲訪問診療中の井手院長



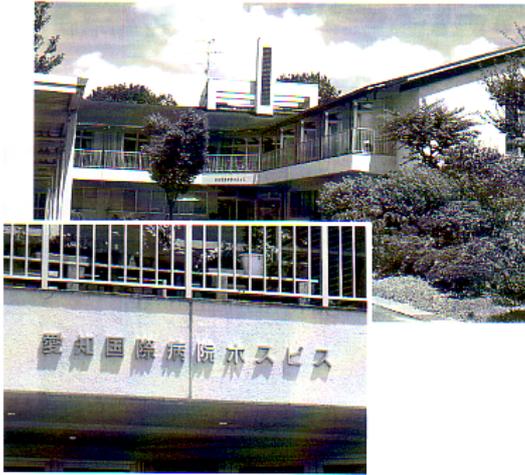
んだ自宅で過ごすことが出来るようにと、訪問医療・看護を他に先駆けて開始しました。1987年には医療法人財団愛泉会愛知国際病院となり、1992年に老人保健施設愛泉館を併設し、1999年には県内で最初のホスピスを開設しました。現在、一般52床、ホスピス20床で急性期から亜急性期、終末期に至るまでの医療をこの地域で担っています。この4月からは在宅支援病院として一層在宅医療に力を注ぐことにしました。

法人としては、愛知国際病院、老人保健施設愛泉館、訪問看護ステーションえまい、居宅介護支援事業所愛泉館、日進市東部地域包括支援センターの5つの事業所があり、これらが連携することによって、地域で安心して暮らすためのお手伝いをさせていただいています。まきば（1997）、のぞみ（2003年）とは開設当初より協力、連携体制にあります。

病院の主な診療科は、内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、消化器科、リ



②



▲愛知国際病院ホスピス



ウマチ科、神経内科、リハビリテーション科、東洋医学科、緩和ケア科(ホスピス)などです。

一般的な疾患の診断や治療から、認知症、神経難病、リウマチなどの専門的な外来、生活習慣病などの栄養相談まで、幅広く対応しています。また小児科では、育児相談、健診、予防接種、言語発達相談にも応じています。

検査は、一般的な検査の他に、CT、超音波(腹部、

乳腺、心臓など)検査、内視鏡(食道や胃などの上部、大腸などの下部)検査などを行い、消化管疾患や整形外科の手術も行っています。

リハビリ部門は、各科と連携しながら、生活機能の回復や維持のための身体リハビリ、嚥下障害、言語障害などの言語療法まで幅広く対応し、在宅でのリハビリも行っています。

今や国民の2人に1人が、がんにかかり、3人に1人が、がんで亡くなると言われています。

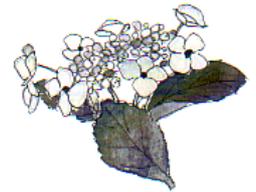
ホスピスではがんの痛みをはじめ様々な身体症状を和らげるだけでなく、精神的、社会的、スピリチュアル(霊的)な援助を行っています。

療養上の不安や心配事などのご相談は、医療福祉相談室で伺っています。

愛知国際病院は、これからも患者さんの隣人として、体の不調を感じたらまず受診したいと思っただけの病院であり続けたいと願っています。



▲ホスピスのロビー



礼拝室での作品展▶

「まきば」からも一言…

愛知国際病院は、「まきば」設立当初から提携医療機関として、診察・入院・検診に対応して下さっており、健康面で非常に頼りになる存在です。立地的には真向かいにあり、扉から扉迄でも30メートルしか離れていません。毎月1度は井手院長を迎えて「介護医療連携会議」を開催し、入居者お一人おひとりの状況確認から医療方針、介護の指導に至るまで綿密な打ち

合わせを続けています。また、井手院長と松本医師が月に2回ずつ、訪問診療に来訪して下さいますので、「まきば」内で生活をしながら診察を受けることもできます。

シルバーホーム「まきば」の篠田潔理事長はホスピスの協力牧師として、鈴木卓也施設長は病院の医療倫理委員として、緊密な協力関係を続けています。



「まきば」近郊のキャンパス紹介

日進市は、総人口における新生児出生率が日本一の自治体です。

若い家族や子供達がたくさん住んでいます。

土曜・日曜には、「まきば」に隣接する広い愛知牧場が、
家族連れでいっぱいになります。

平日には、幼稚園や保育園のバスが列をなして訪れます。

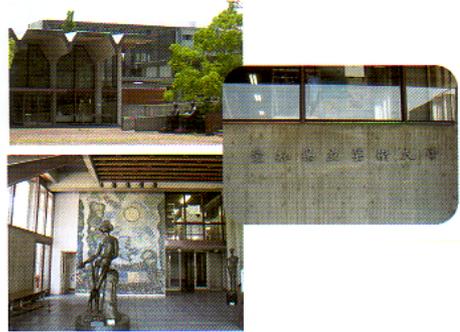
そして、「まきば」の近郊には、多くの大学キャンパスがあります。

10km圏に、何と18もの大学が点在しています。

「まきば」周辺は『医療福祉ゾーン』と呼ばれていますが、

そこから一歩外へ出ると、まさに『若者の街』の熱気が感じられます。

今回は、「まきば」近郊の大学キャンパスをご紹介します。

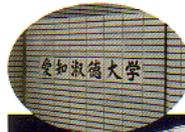


13 愛知県立芸術大学

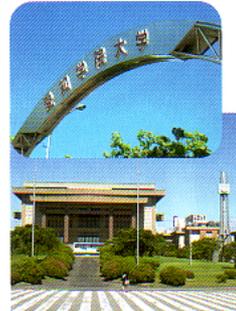
近隣大学

- ① 愛知大学 600m みよし市
- ② 東海学園大学 2km みよし市
- ③ 名古屋商科大学 4km 日進市
- ④ 愛知学院大学 4km 日進市
- ⑤ 日本赤十字豊田看護大学... 5km 豊田市
- ⑥ 桜花学園大学 5km 豊田市
- ⑦ 愛知学泉大学 5km 豊田市
- ⑧ 愛知淑徳大学 5km 長久手町
- ⑨ 名古屋学芸大学 5km 日進市
- ⑩ 名古屋外国語大学 5km 日進市
- ⑪ 椋山女学園大学 5km 日進市
- ⑫ 中京大学 6km 豊田市
- ⑬ 愛知県立芸術大学 8km 長久手町
- ⑭ 愛知工業大学 8km 豊田市
- ⑮ 愛知県立大学 9km 長久手町
- ⑯ 愛知医科大学 10km 長久手町
- ⑰ 愛知教育大学 10km 刈谷市
- ⑱ 愛知みずほ大学 10km 豊田市

※ 表示kmは「まきば」からの概算距離



8 愛知淑徳大学



4 愛知学院大学



10 名古屋外国語大学



11 椋山女学園大学



9 名古屋学芸大学



4



17 愛知教育大学





16 愛知医科大学



15 愛知県立大学



17 愛知教育大学



14 愛知工業大学



3 名古屋商科大学



12 中京大学



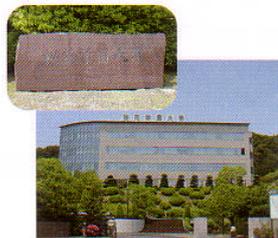
18 愛知みずほ大学



2 東海学園大学



1 愛知大学



6 桜花学園大学



5 日本赤十字豊田看護大学



7 愛知学泉大学

5

隠退教師紹介

シルバーホーム「まきば」は、もともと『隠退された牧師のための住まいを造る』という目的で計画がスタートしました。その後、様々な意見を取り入れて現在の形になりましたが、今「まきば」には5人の隠退牧師が生活しておられます。今回は、その先生方を紹介します。(年齢順)

戸田 伊助 牧師

1925年7月4日、福島県会津高田町生まれ。

中学生の時、会津若松教会で受洗。会津若松県立工業学校から大連市の南満州工業専門学校へ。卒業と同時に終戦。戦争で死ななくてはならないと思いながら死ぬ気になれず、牧師になりたいというより真理を究めたいと思って日本基督教神学専門学校(現・東京神学大学)に入学。

熊本坪井教会、岡山蕃山町教会を経て名古屋教会で40年近く牧会し隠退。その間、日本基督教団総会議長など歴任。社会福祉法人サフラン生活園、シルバーホーム「まきば」創設に尽力。2010年4月17日入居。

【今の生活について】

「キリスト教の危機、その根源」に問題意識をもって生活している。今のキリスト教は、キリストの十字架において啓示された福音の生命に触れて、そこから再出発しないと教会の将来は無い。現在、名古屋キリスト教センターで聖書集会を開き、その講義を通して対話しながら新しい問題提議をしたいと考えている。十字架の真理を本にして出版したい。隠退したから余生を楽しみたいとか、ゆっくりしたいという気分ではない。

【「まきば」に期待すること】

有料老人ホームとして世間からは高く評価されているが、私としては「キリスト教的長屋」のような存在になることを希望している。

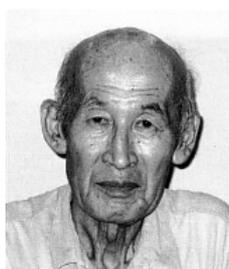


小崎 弘雄 牧師

1926年12月15日、東京・豊南坂教会牧師館で生まれる。

祖父である小崎弘道牧師より幼児洗礼を受ける。父、小崎道雄牧師により信仰告白。日本基督教神学専門学校(現・東京神学大学)入学、その年の8月に終戦となる。

岡崎教会に赴任後、岡崎教会の家庭集会を母体にし



てできた刈谷教会を開拓伝道、そのまま51年間牧会して隠退。その間、刈谷教会から碧南教会を生み出す。十字ヶ丘復活苑理事長、中部教区愛知老人コミュニティセンター委員長など歴任。現在、刈谷教会名誉牧師。

若い時から人間に興味があり、人への関心が高い。学生の頃、終戦で外地から引揚げて来る人の救援活動をしたり、戦争孤児、浮浪児の世話をしたりしていた。名古屋家庭裁判所調停員を20年近く勤める。

2008年9月1日入居。

【今の生活について】

差別と平和に問題意識を持っている。人間はいかに愚かか。戦争をしてはいけないことを知っていながら戦争の準備をしてしまう。それに抵抗すると共産党のように思われる。根の深い問題が残されてしまっている。部落差別の問題も気になっている。正しい理解がされるようになることを祈っている。

【「まきば」に入居してみても】

とても気に入っている。まさに「この世の楽園」のようで、びっくりしている。

山本 尚忠 牧師

1927年9月27日、東京・中野生まれ。

父親の仕事から、台湾、仙台、東京、名古屋と移り住み、終戦後、日本基督教神学専門学校(現・東京神学大学)に入学。名古屋北教会、仙台広瀬河畔教会を牧会し、

一旦隠退するが復帰して東京の芝教会を牧会。その間、金城学院・名古屋学院評議員、東北学院・宮城学院理事。また、教団讚美歌委員会にて、「讚美歌第2編」「みんなであおう」の編集や、教団の信仰職制委員会、宣教委員会などに関わる。再度隠退後、名古屋で生活。2010年4月27日入居。

【今の生活について】

4月末に入居して、やっと落ち着いてきたところ。なるべく前の生活に近い生活空間を再現するのに努力した。これまでは、赤池教会の礼拝説教を月1回奉仕してきた。今は、自分の車を1時間運転して名古屋北教会の礼拝に出席している。これからは、今まで学んできたことの充分でなかった点を、ゆっくり考察してゆきたい。

【「まきば」に期待すること】

キリスト教から離れない運営を、いつまでも続けてほしい。信仰と福祉によって、人が他の人と喜んで共に生きてゆくことができる施設になっていってくれることを望んでいる。



畑 裕喜 牧師

1931年7月9日、東京・目黒区生まれ。

中学生の時、信濃町教会にて受洗。東京外大ドイツ学科より東京神学大学大学院に転学。富山県石動教会から日本キリスト教会西宮夙川教会、佐賀めぐみ教会を経て神戸布引教会に転任。震災による教会堂再建の後、心臓手術を機に隠退。東神大で同級生だった石原牧師のついでで「まきば」に2005年9月28日入居。



夙川教会在任中、西ドイツ・マインツ大学神学部に留学。カトリック修道院に生活し、バルトの高弟リッachel教授の指導の許にシュライエルマッハー神学を学習。C.バルト「詩篇入門」、コーラー「ディアコニー入門」他神学書翻訳多数。

【今の生活について】

「健康と病、生と死」「再生医学」「医の理論と倫理について」などを廻り、神学者は医学者とどう対話するかについて、最先端の情報と学問の追跡、また教会史の大神学者カルヴィンとバルト、この出会い、バルトのカルヴィン解釈に関する研究集を追っている。

【「まきば」に期待すること】

生活配慮を受けて自由な学習生活が続けられ感謝している。最近問題の福祉について「信仰」との関わりを言うならば、教会の宣教、(聖餐の)交わり、奉仕(ディアコニー)の一体性の認識に触れて欲しいと願っている。

石原 信良 牧師

1932年2月12日、東京生まれ。

東京聖書学校へ入るが、すぐに中退して東京神学大学へ。

東京信愛教会、宮崎県の都城城南教会、佐賀教会から瀬戸内海の大島教会での牧会を最後に隠退。奥様の家があった佐賀に住んでいたところ、「教会と高齢者問題」という集会で戸田伊助牧師の講演を聞き「まきば」のこを知る。



父親の郷里が愛知県であったことと、長女が愛知県に住んでいることから興味を持ち、徳永五郎先生の推薦で入居することに。2004年4月14日入居。

【今の生活について】

音楽が好きで、クラシックを聞いたり讃美歌を歌ったり、たまにはカラオケでナツメロや唱歌を歌って楽しんでいる。大相撲を見るのも楽しみの一つ。東神大でドイツ語を教えていた井上良雄先生の本を読んだりテープを聞いたり、在任中にできなかったことをここで学んでいる。現在、ピアノを練習中。

【牧会を通して意識してきたこと】

人を愛して導くこと。愛することによって人を理解することができる…そこから牧会ができる。「愛を与えてください」と祈り続けて生きることを、今も大切にしている。



■愛知老人コミュニティーセンターへの献金報告

献金者芳名 (2009年4月1日～2010年3月31日) (敬称略)		
教会福祉献金	匿名1口	金額 2,500,000円
センター維持献金	中山 節子、加藤 昭、浅川 裕、名古屋中村教会 愛知西地区教会婦人会連合、下村 徹嗣、志村 信夫 雨宮 恵二、深谷 佐和子、真木 芳子、鈴木 卓也 尾関 静枝、名古屋学院一麦会、名古屋新生教会 篠田 潔、広路教会、中部学院大学宗教委員会 金沢元町教会、尾陽教会、匿名11口	合計 2,898,000円

なお、教会福祉献金の累計額は、69,926,338円です。また、通常献金は、建築費を支払った残りとして、76,906,031円が積立てられています。皆様の献金を心より感謝申し上げます。

献金振込先

- ① 三菱東京UFJ銀行 日進支店
(宗) 日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
理事長 篠田 潔
普通口座 1162658
- ② 郵便振込
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
振替番号 00870-4-29934

入居予約受付中



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home

まきば

見学や体験入居もできます(要予約)



シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで
教会もあります。

キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」「讃美の集い」などの
定例会が毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会から
バスが迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究
祈禱会」、真向かいにある愛知国際病院の「聖書集会」
にも自由に出席することができます。

交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

提携医療機関

医療法人財団愛泉会愛知国際病院(内科、外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、
神経内科、胃腸科、肛門科、循環器科、リウマチ科)、武田歯科医院、たかはし眼科

類型及び表示事項

施設の類型/介護付有料老人ホーム(一部住宅型) 居室の権利形態/利用権方式
介護保険/愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件/60才以上で入居時自立及び要支援の方
介護居室区分/個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制/2:1以上

入居一時金

1人部屋/1500万円(22.05m²)
2人部屋/2200万円(32.76m²) 返還金制度あり

管理費

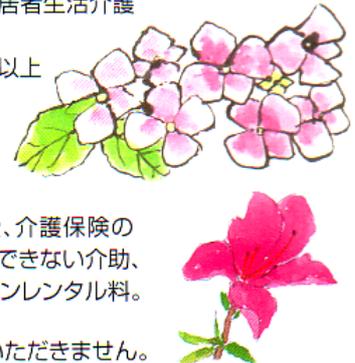
1人部屋/ 89,250円/月
2人部屋/136,500円/月

■管理費に含まれないサービス:

居室にかかる電気代・電話代の実費、介護保険の
自己負担分、医療費、介護保険で充当できない介助、
個別的な要望によるサービス、エアコンレンタル料。

食費

50,000円/月。3食30日分の料金です。召し上がらなかった場合はいただきません。



お問い合わせ先

(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター シルバーホーム「まきば」

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561

<http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>

編集後記

去る5月に開かれた日本基督教団中部教区総会で、シルバーホーム「まきば」の施設長が以下のように報告しました。①シルバーホーム「まきば」は、今後も宗教法人日本基督教団のセンターとして存続する道を選んだ。②経営が黒字で、無借金経営をしている。③当初の目的のように、入居されている隠退教師(牧師)が5人になった。④職員の半数がクリスチャンである。⑤職員に受洗者が与えられた。

さらに、「まきば」が隠退教師のコミュニティーサロンの働きをしてゆこうという新しいビジョンが与えられていることも報告されました。

以上のような「まきば」の働きをお知らせするこの「まきば通信」は、年2回発行され、各教会の現住陪餐会員数をお送りしています。広く有用されることを願いつつ。(久美江)

